



群馬大学基金

駆ける 世界を
グローバルチャレンジプログラム
募集説明会

国際センター
越智 貴子

グローバルチャレンジプログラム

って何？

- ◆ 海外で**交流・研修・研究**を行うための**奨学金**
- ◆ 個人あるいは**学生グループ**で応募できる
- ◆ 海外での活動プランを**自由に企画**できる
- ◆ **最大50万円の奨学金**を支給（返済不要）
- ◆ 家計基準等、縛りなし

グローバルチャレンジプログラム

応募資格および条件

- ① 群馬大学に在籍する正規の学部生・大学院生
 - ・ 国費留学生は応募不可
- ② 学部の教員より応募の推薦を受けること
- ③ 海外での交流に応募者のみならず本学としての成果もあげることが期待できるもの

グローバルチャレンジプログラム

奨学金支給対象期間

【原則】

2019年8月1日以降に日本を出発し、2020年3月31日までに帰国するもの

※ 3/31以降、帰国する場合も対応可

グローバルチャレンジプログラム第2期応募

→2019年10月実施（予定）

2020年4/1-2021年3/31の対象期間

グローバルチャレンジプログラム

奨学金支給の内容

何に対して、どのような方法で支給するの？

【奨学金の支給内容】何に対して支給するの？

- 往復航空券
- 授業料・プログラム参加費用
- 海外活動期間中の活動支援費用（月額）
（地域指定月額）

→ 1件につき最大50万円まで支給

地域指定月額

31日未満→1月分
31日以上62日未満→2か月分
※ただし、現地活動日数として算出（移動日は含めない）

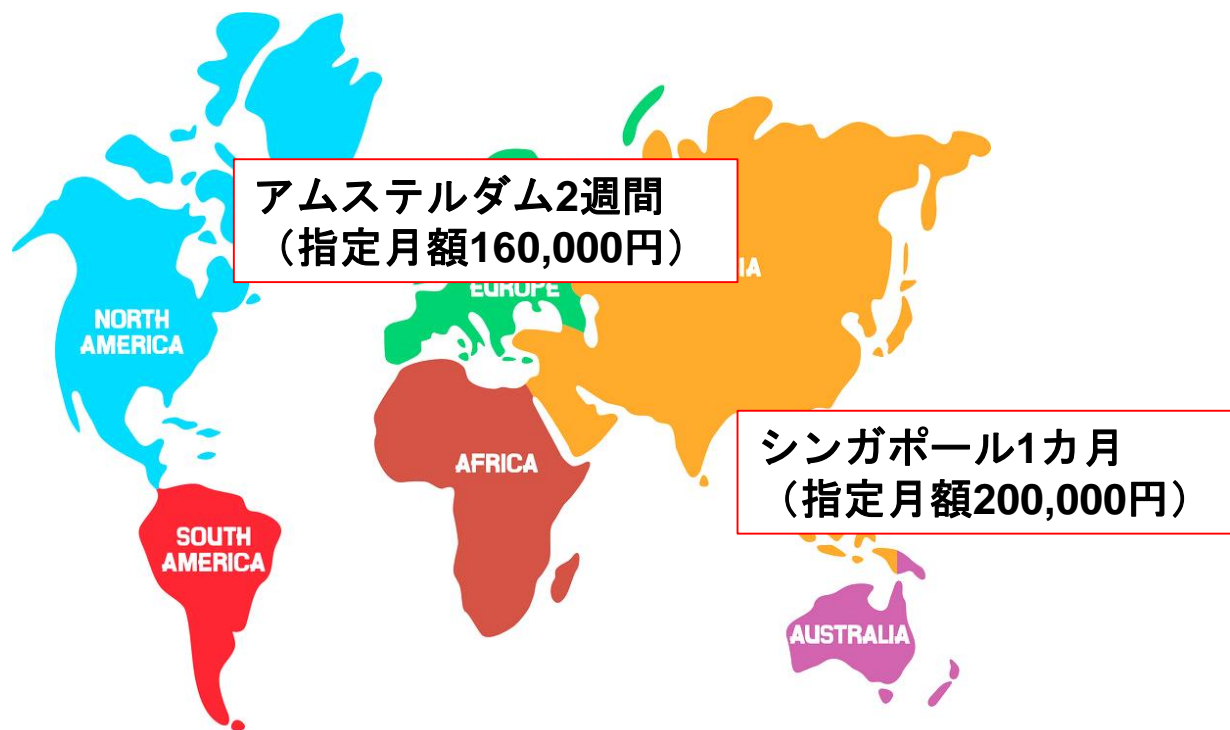
海外での活動地域により4つに区分

月額

指定都市	サンフランシスコ、シンガポール、ニューヨーク、パリ、ロンドン、モスクワ、ロサンゼルス、ワシントンD.C. など	200,000円
甲地区	北米、欧州、中近東（一部地域を除く） 例）アムステルダム、シアトル、バンクーバー、トロントなど	160,000円
乙地区	指定都市、甲地方、丙地方以外 例）クアラルンプール、シドニー、ジャカルタ、バンコク、プラハ、マニアなど	140,000円
丙地区	アジア（一部地域を除く）、中南米、アフリカ 例）上海、台北、北京など	120,000円

地域指定月額

- 異なる月額で地域で活動を行う場合
 - 滞在日数が長い地域の月額を適用
 - 滞在日数が同じ場合は金額が高い地域の月額を適用



【奨学金の支給方法】

どういう方法で支給されるの？

-
- ① 往復航空券 → 大学指定の手続きに従って航空券の購入をする場合は渡航前の支給可
 - ② 授業料・プログラム費用 → 事前に見積を提出すれば渡航前の支給可
 - ③ 地域指定月額による海外活動支援費用 → 渡航前の支給可
帰国後、必要書類を提出
-

奨学金支給の注意点

- ◆ 原則、学内の他の（海外用）奨学金との併給は不可
- ◆ 海外での活動のために指導教員等が費用の不足分を補填する場合は、合算使用は可

グローバルチャレンジプログラム

出願に必要な書類

- ① 申請書（様式1）
- ② 申請グループ構成員一覧（様式2）

書類の提出先

- 教育学部／教育学研究科の学生 : 教育学部教務系
- 社会情報学部／社会情報学研究科の学生 : 社会情報学部教務係
- 医学部／医学系研究科／保健学研究科の学生 : 学務課学事・学生支援係
- 理工学部／理工学府の学生 : 理工学部学生支援係
- 理工学部1年生 : 国際課

プログラムに申請する学生あるいは学生グループの代表学生は所属する学部の事務に提出

申請書の書き方

学部の教員（学生グループの場合は代表学生が所属する学部の教員）から応募の推薦をもらうこと！

留学のテーマ			
研修先機関		機関名： _____（国名： _____）	
渡航時期		2019年 月（ _____ 日間）	
推薦教員の所属・職・氏名および署名		教員の所属・職・氏名： _____	
		署名： _____ ㊟	
日程	月 日	活動内容、場所など	従事時間
	月 日（ ）	出国	
	月 日（ ）		
	月 日（ ）		
	月 日（ ）		
	月 日（ ）		
	月 日（ ）		
	月 日（ ）		
	月 日（ ）		
	月 日（ ）		
	月 日（ ）	帰国	

申請書の書き方

留学の目的と内容 (概要)	<ul style="list-style-type: none">• どこで、いつ、どれくらいの期間、どういう活動（交流・研修・研究）をするか？• なぜその活動その場所で行うか？（動機）• 活動の独自性やユニーク性をアピール
帰国後期待される成果	<ul style="list-style-type: none">• 活動（交流・研修・研究）の具体的な成果• 海外での活動によってどういう自分になることを期待しているか
計画達成のための準備	<ul style="list-style-type: none">• 活動場所との手続き等について（どのように活動場所を見つけ、コンタクトをしているか）• 語学について（海外での活動に支障のない語学力があるか？そのためにどのような対策をしているか？）

申請書の書き方

グローバルチャレンジプログラムに自身が貢献できること	<ul style="list-style-type: none">海外での活動の内容や成果を、自分の独自のツールを使って、どのように学内外に広く発信することができるか？その他、グローバルチャレンジプログラムが今後、高い成果を上げ、広く評価されるために、どのような貢献ができるか？
将来の計画、グローバル活動へ抱負	<ul style="list-style-type: none">海外での活動を、帰国後、どのように自分の将来に活かしたいと考えているか？これまでにどのような国際交流の活動に参加したことがあるか？群馬大学の国際交流のリーダーとして、海外での活動の経験を活かして、群馬大学の国際化のためにどのような貢献ができるか？

申請書の書き方

様式 2

群馬大学基金
駆けろ、世界を！グローバルチャレンジプログラム 申請者名簿

1. プログラム申請者（代表者）

国籍： _____
氏名： _____
所属： _____
学年： _____

2. プログラム申請者

国籍： _____
氏名： _____
所属： _____
学年： _____

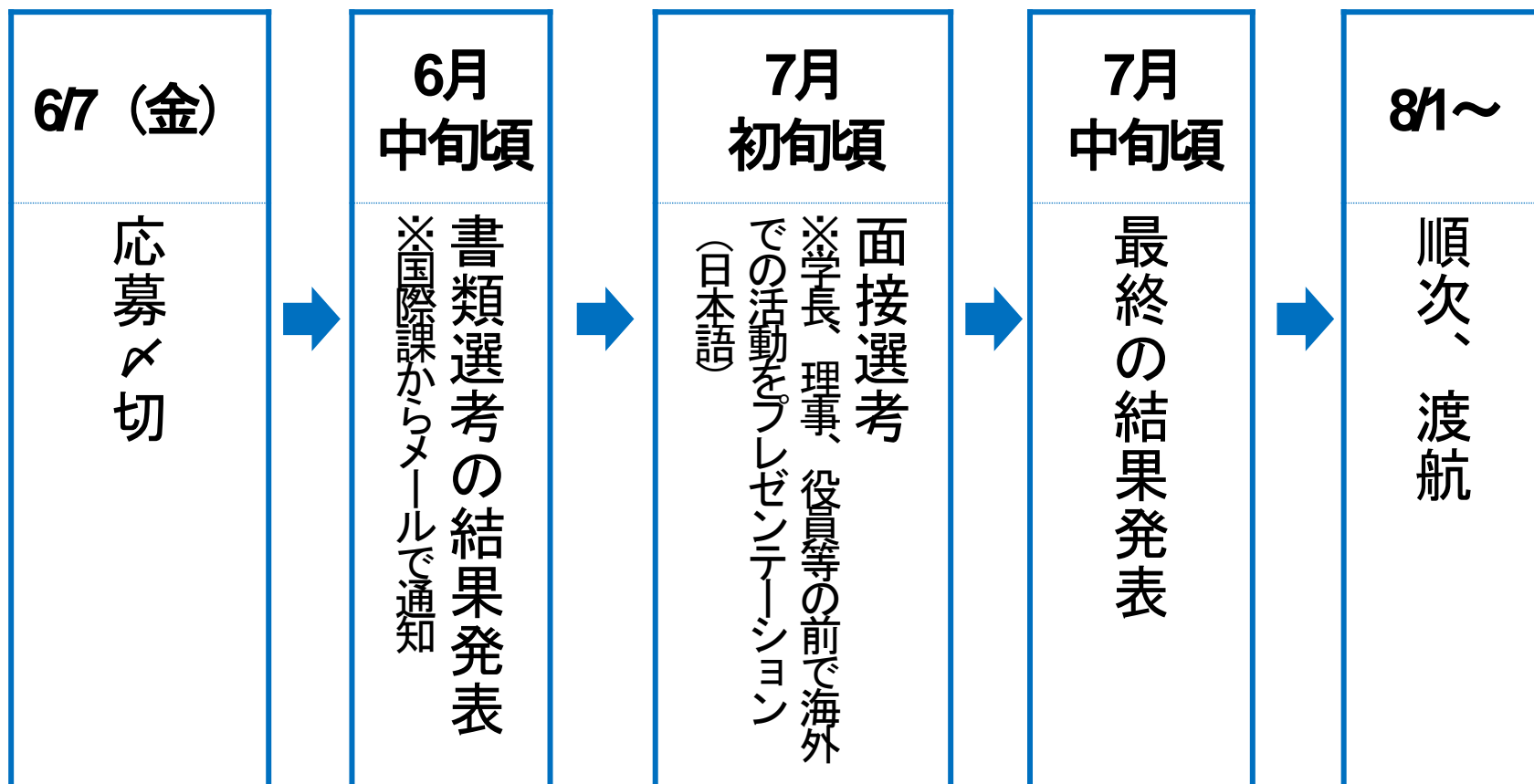
3. プログラム申請者

国籍： _____
氏名： _____
所属： _____
学年： _____

個人で申請する場合は、
自分の情報のみ記載

グローバルチャレンジプログラム

選考スケジュール・選考方法



グローバルチャレンジプログラム

活用例

案① 既存の大学留学プログラムに＋アルファする

(例) イギリス・キール大学英語研修

・ 英語＋研究室でのプロジェクト／インターン

案② オリジナルプラン


(例) イタリア・キックオフミラノで「日本と海外のフットサルチーム（栄養・コーチング等）を比較する」

(例) 日本・シンガポール・イギリスの広告に見るジェンダーの活用を議論する国際ワークショップ～現地大学生と考える今後のジェンダー～

グローバルチャレンジプログラム

問合せ先

国際センター（海外留学派遣）

越智 貴子（おち たかこ） 

荒牧キャンパス大学会館3階研究室

E-mail: tochi@gunma-u.ac.jp

Tel: 027-220-7506

海外活動の助言・相談（訪問機関の見つけ方、ロジスティックス、安全管理等）

国際課

荒牧地区大学会館1階

E-mail: g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

Tel: 027-220-7627